



第 3 章
計画の考え方

1 基本的な視点

計画を策定・推進していく上で、基本となる考え方を示すため、以下の視点を定めます。

3つの主体（子供・若者、子育て当事者、地域）を明確に示し、それぞれの立場に立って考えることで、次世代育成支援施策のより一層の充実を図ります。

視点1 子供・若者が幸せを実感し、安心して育つ環境をつくる

子供・若者は、生まれながらに権利の主体であり、その多様な人格や個性、意見は尊重される必要があります。子供・若者が、主体的に、自分らしく、幸福に暮らすことができるよう、また、希望と意欲に応じて、自らの可能性を広げることができるよう、子供・若者の視点に立った施策を推進します。

視点2 子育て当事者が、ゆとりを持って、子供を生き育てられる環境をつくる

子育て当事者が、経済的な不安や孤立感を抱いたり、仕事との両立に悩んだりすることなく、また、過度な使命感や負担を抱くことなく、ゆとりを持って、子供に向き合えるよう、子育て当事者の視点に立った施策を推進します。

視点3 台東区が誇る地域の力で、子供・若者の笑顔があふれる未来を実現する

台東区には、支え合いや助け合いという、古くから培ってきた地域の力があり、これまでも家庭や地域が一体となって子供・若者の成長を支えてきました。これからも地域全体でその成長を温かく見守り、応援し、子供・若者の笑顔があふれる未来を実現します。

2 基本理念

子供・若者は、輝かしい未来への希望です。次の時代を担う子供・若者がのびのびと育ち、自らの希望に応じてその意欲と能力を活かすことができる環境を整えることは、地域の活力向上と持続的な発展につながります。

こども大綱では、子供・若者は、未来を担う存在であるとともに、今を生きている存在であり、保護者や社会の支えを受けながら、自立した個人として自己を確立していく権利の主体とされています。そのため、子供・若者を、多様な人格を持った個として尊重し、その権利を保障し、子供・若者の今とこれからのための最善の利益を図ることが重要です。

加えて、全ての子供・若者が心身ともに健やかに成長し、身体的・精神的・社会的に幸福な生活を送ることができる「こどもまんなか社会」の実現は、結果として、少子化の流れを反転させ、社会経済の持続可能性を高めることにつながるとされています。そのため、子供・若者が、いきいきと自分らしく、安心して暮らすことができるよう、地域一丸となつて、子供・若者、子育てにやさしい社会づくりに取り組むことが必要です。

そこで、本計画では、こども大綱が目指す「こどもまんなか社会」の実現に向けて、行政が担う役割を明らかにし、本区の子供・子育て・若者支援施策の更なる推進を図るため、以下の基本理念を掲げます。

**子供・若者の今とこれからを大切にし、
すこやかな未来をはぐくむ やさしいまち たいとう
～子供の育ちと若者の自立を地域全体で支えるまちを目指して～**

また、本区の子供・子育て・若者支援施策全体の成果を測ることを目的として、以下の評価指標を設定します。

■評価指標

指標名	現状 (令和6年度末)	目標 (令和11年度末)	出典
普段の生活の中で、幸せな気持ちになることがよくある子供の割合	小学6年生 52.6% 中学3年生 49.1%	小学6年生 増加 中学3年生 増加	全国学力・学習状況調査
子育てに関して不安や負担を感じる保護者の割合	47.4% (令和5年度)	減少	台東区次世代育成支援に関するニーズ調査
台東区が子育てしやすいと感じる保護者の割合	55.2% (令和5年度)	増加	台東区次世代育成支援に関するニーズ調査

3 SDGs の理念と本計画との関係

平成27年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」において、国連加盟国が平成28年から令和12年までの15年間で達成を目指す国際目標として「持続可能な開発目標（SDGs）」が位置づけられました。SDGsでは17の目標と169のターゲットを設定し、地球上の誰一人として取り残さないことを誓っています。

本計画は、子供の権利保障や母子保健の推進、学びや子育て環境の整備、若者の自立支援等により、子供や若者が心身ともに健やかに育つ社会の実現を目指すものであり、SDGsの目標3や目標4と深く関連します。

SDGsの目標3「すべての人に健康と福祉を」では、「あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する」としています。また、目標4「質の高い教育をみんなに」では、「すべての人々への、包摂的かつ公正な質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する」としています。

本区においても、これらの目標の達成に向けて、本計画の着実な推進を図ってまいります。

■SDGsの17の目標



4 基本目標

基本理念の実現に向けて、以下の6つの基本目標を定めます。

基本目標1 子供の権利を保障し、ありたい未来を支援する

こども基本法やこども大綱では、全ての子供が個人として尊重され、その基本的人権が保障されることや子供の最善の利益が優先して考慮されること等の必要性が示されています。

また、ニーズ調査結果の中では、虐待やいじめの防止、早期発見、早期対応等が緊急性の高い課題として挙げられています。

そこで、本区では、子供の権利がひとしく守られ、一人ひとりが望む未来に向かって、着実に歩みを進められるよう、必要な施策を実施します。

■施策の指標

指標名	現状 (令和6年度末)	目標 (令和11年度末)	出典
自分には自分らしさというものがあると思う子供の割合	—	60.0%	台東区次世代育成支援に関するニーズ調査
要保護児童数	281人 (令和5年度)	減少	担当課調べ
不登校児童・生徒のうち、学校、関係機関、民間施設等とつながっていない割合	22.5% (令和5年度)	減少	児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査
困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できる子供の割合	小学6年生 63.3% 中学3年生 63.2%	小学6年生 増加 中学3年生 増加	全国学力・学習状況調査



オレンジリボンキャンペーン展示の様子



生活指導相談学級（学習室）の様子

基本目標2 安心して子供を生み育てられるよう、切れ目なく支援する

子育て家庭を取り巻く状況や子供の成長・発達段階等により、子育て当事者が抱える問題は、多種多様となっています。

また、ニーズ調査結果の中では、子育てに関する悩みを包括的に受け止める相談支援体制の構築をはじめ、妊娠期から子育て期までの一貫した切れ目のない保健・医療の提供体制の確保等が求められていることが分かります。

そこで、本区では、全ての子育て当事者が安心して子供を生み育てられるよう、妊産婦や乳幼児の健康づくりを支援するとともに、子育て当事者の不安や負担を軽減するための施策を実施します。

■施策の指標

指標名	現状 (令和6年度末)	目標 (令和11年度末)	出典
子育て支援サービスに関する情報を取得しやすいと感じる保護者の割合	—	60.0%	台東区次世代育成支援に関するニーズ調査
子育てに関して、気軽に相談できる人や場所がある保護者の割合	85.7% (令和5年度)	増加	台東区次世代育成支援に関するニーズ調査



3～4か月児健診の様子



育児相談の様子

基本目標3 教育・保育環境を整備する

本区では、教育・保育サービスの量的な確保を図り、令和5年4月に「保育所待機児童ゼロ」を達成しましたが、今後もサービスの利用状況や利用意向等を踏まえ、教育・保育の量を適切に見込む必要があります。

そこで、本区では、保護者が安心して子供を預けられるよう、子育て家庭のニーズを踏まえた定員を確保するとともに、教育・保育サービスの質の向上を図るための施策を実施します。

■施策の指標

指標名	現状 (令和6年度末)	目標 (令和11年度末)	出典
保育所待機児童数	0人 (令和6年4月)	維持	担当課調べ
保育所が提供するサービスについて肯定的な回答の割合	77.3% (令和5年度)	85.0%	担当課調べ



いっとき保育室の様子



保育園の様子

基本目標4 子供・若者のすこやかな成長を支援する

近年、経済のグローバル化や「Society5.0」の実現に向けた動きが急速に進んでおり、国際化に対応した人材の育成や情報活用能力の向上等、教育の重要性がますます高まっています。

さらに、ニーズ調査結果の中では、子供・若者の多様な居場所づくりや青少年健全育成に関する取組、悩みを抱えた子供・若者への相談支援が求められていることが分かります。

そこで、本区では、子供・若者が変化の激しい社会に対応できるよう、学校や地域と連携し、創造性や生きる力を育むための特色ある教育を推進するとともに、心身ともに健やかに育つための施策を実施します。

■施策の指標

指標名	現状 (令和6年度末)	目標 (令和11年度末)	出典
こどもクラブ待機児童数	121人 (令和6年4月)	0人	担当課調べ
学校の授業でわからないことが半分以上ある子供の割合	19.7% (令和5年度)	減少	台東区次世代育成支援に関するニーズ調査
地域活動やグループ活動に参加したことがある子供の割合	55.0% (令和5年度)	増加	台東区次世代育成支援に関するニーズ調査
自分の暮らし向きをよくないと感じる若者の割合	20.2% (令和5年度)	減少	台東区次世代育成支援に関するニーズ調査
ひきこもり状態にある若者が社会参加を果たした割合	19.7% (令和5年度)	増加	担当課調べ



こどもクラブの様子



放課後子供教室の様子

基本目標5 子供や家庭の状況に応じて支援する

困難な状況にある子供や子育て当事者を誰一人取り残さず、その特性や支援ニーズに応じて、きめ細かい支援や合理的な配慮を行う必要があります。

また、ニーズ調査結果の中では、庁内・庁外問わず、関係部署や機関等が横断的に連携し対応にあたる支援体制の整備が求められていることが分かります。

そこで、本区では、経済的な状況や障害の有無、言語の違い等に関わらず、全ての子供が健やかに育つための施策を実施します。

■ 施策の指標

指標名	現状 (令和6年度末)	目標 (令和11年度末)	出典
現在の暮らしが苦しいと感じる保護者の割合	24.9% (令和5年度)	減少	台東区次世代育成支援に関するニーズ調査
自立に向けて支援を行ったひとり親の就業率	45.2% (令和5年度)	増加	担当課調べ



ひとり親家庭バスハイクの様子



子供日本語教室の様子

基本目標6 地域ぐるみで子育てを支援する

核家族化の進展や共働き世帯の増加に伴い、子育て当事者の不安や負担は、以前にも増して大きくなっています。

また、ニーズ調査結果の中では、地域で子供を見守る体制づくりや犯罪の起こりにくい環境づくり、災害時の避難体制の構築等が求められていることが分かります。

そこで、本区では、子供が安心・安全に育つ環境づくりを推進するとともに、様々な取組を通じて、子供や子育て当事者を地域全体で支える気運を醸成していきます。

■施策の指標

指標名	現状 (令和6年度末)	目標 (令和11年度末)	出典
0～4歳未満人口に対する子ども家庭支援センター新規利用登録者の割合	37.7% (令和6年4月)	増加	担当課調べ
育児休業取得率	父親 21.7% 母親 89.6% (令和5年度)	増加 増加	台東区次世代育成支援に関するニーズ調査



あそびひろばの様子



子供食堂の様子

5 施策体系

基本理念

子供・若者の今とこれからの大切にし、
すこやかな未来をはぐくむ やさしいまち たいとう
～子供の育ちと若者の自立を地域全体で支えるまちを目指して～

基本目標	施策の展開
1 子供の権利を保障し、 ありたい未来を支援する	1 子供の権利保障と意識の醸成
	2 児童虐待防止対策の強化
	3 いじめ防止と不登校の子供への支援
2 安心して子供を 生み育てられるよう、 切れ目なく支援する	1 包括的な相談支援体制と情報提供の充実
	2 妊娠・出産に対する支援
	3 母子保健の推進
	4 小児医療の確保
	5 経済的負担の軽減
3 教育・保育環境を整備する	1 就学前教育の推進
	2 多様な保育サービスの展開
	3 教育・保育サービスの質の向上
4 子供・若者のすこやかな成長を 支援する	1 安心して過ごせる居場所づくり
	2 学ぶ環境の整備
	3 社会参画・多様な活動機会の充実
	4 自立支援の充実
	5 悩みを抱える子供・若者への支援と非行防止
5 子供や家庭の状況に応じて 支援する	1 生活困窮家庭への支援
	2 ひとり親家庭への支援
	3 配慮を必要とする子供への支援
	4 外国にルーツをもつ子供への支援
	5 ヤングケアラーへの支援
6 地域ぐるみで子育てを 支援する	1 地域における子育て支援活動の推進
	2 子供の安心・安全を守る取組の推進
	3 ワーク・ライフ・バランスの推進
	4 子育てしやすい生活環境の整備